

海苔由来の保湿・感触改良剤

商品名 **ピュアポリフィラF**
硫酸多糖 ポルフィラン

ピュアポリフィラFは海苔だけに存在するポリフィランを、独自の製法によって調製した保湿性・感触改良剤です。

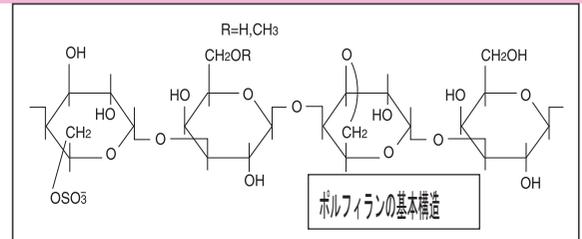
Na塩タイプのF-NAとアルギニン塩タイプのF-ARがあります。

ピュアポリフィラF-NA・・・しっとりとした保護膜を作ります。

ピュアポリフィラF-AR・・・肌がしっとりしてしなやかになります。

●ポリフィランとは

海苔だけに存在する硫酸多糖で、海苔の湿気やすさの原因物質です。ポリフィランは増粘作用や消炎作用、免疫力強化などの機能を持っています。



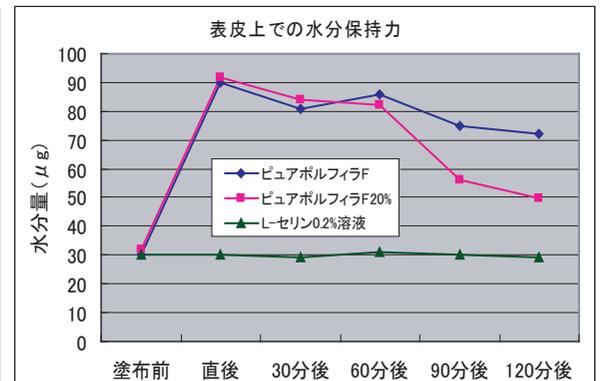
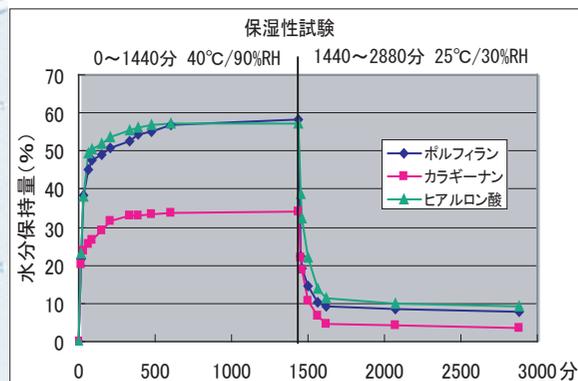
ガラクトースと、アンヒドロガラクトースもしくはガラクトース-6-硫酸からなり、部分的にガラクトースが、メチルガラクトースになっています。

●特長

- ・ナトリウム及びアルギニンとの単一塩とする事により、安定性や透明性の高い粘稠液が得られました。
- ・ヒアルロン酸と同等の保湿力があり、優れた保護膜形成能で肌を乾燥から守ります。
- ・強力なヒアルロニダーゼ阻害活性を有し、敏感肌やアトピー性肌用化粧品に適しています。
- ・なめらかで、しなやかな伸びの感触改良が可能です。

●保湿性

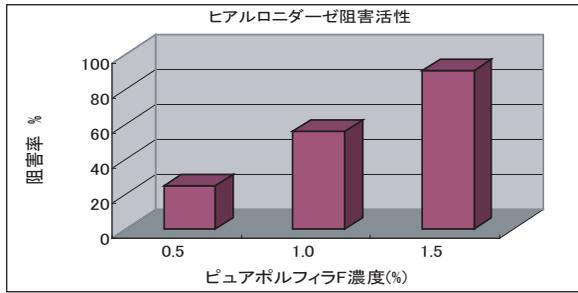
ヒアルロン酸と同等の保湿力と、表皮上で長時間の水分保持力が確認されました。これらの保湿性と、ポリフィランの持つ優れた保護膜形成能により、外的刺激や乾燥を防ぎ、きめ細やかな肌にします。



※それぞれのFD粉末サンプルをシャーレに100mgずつとり、経時的に重量を測定する事で保湿性を調べました。

測定機器：コルネオメータ 測定環境：21°C / 60%RH 以下

●消炎作用



優れた消炎作用で肌荒れを鎮め、保湿性や保護膜形成のとの相乗効果でうるおいに満ちた、みずみずしい肌に変えます。優れた抗炎症作用をもつことから、敏感肌やアトピー性肌用の化粧品にも適しています。

●配合推奨量

各種実験データよりポリ乳酸F-NAおよびF-ARを、1.0%以上の配合をおすすめします。

●ポリ乳酸F-NAとF-ARの性質

- ・ポリ乳酸は、酸性では分解が進み低分子化します。それにともない、粘度が低下致します。
- ・加熱することにより、粘度が減少致しますが、冷蔵庫に一晩保管しますと粘度が戻ります。
- ・ポリ乳酸F-NAは、カーボポールなどの増粘剤に配合しますと著しく粘度が低下します。
- ・ポリ乳酸は、アルコール類(エタノール、1,3-BGなど)を50%以上配合しますと、析出する可能性があります。
- ・カチオン高分子や4級アンモニウム塩とは速やかに反応して白濁します。ご注意ください。

●化粧品への応用

スキンケア、ヘアケア、アトピー・敏感肌用製品

●商品名と表示名称

商品名	ピュアポリ乳酸		
	F-NA	F-AR	F-AR (パラベンフリー)
表示名称	紅藻エキス	紅藻エキス	紅藻エキス
	水酸化Na	アルギニン	アルギニン
	BG	BG	BG
	水	水	水
	メチルパラベン*	メチルパラベン*	

(*キャリアオーバー)

**「紅藻エキス」は「スサビノリエクス」も可

●包装形態及び保管方法

包装形態：アルミスタンディングパウチ 1kg (F-NA, F-AR, F-AR パラベンフリー)
アルミ袋 1kg (F-AR末)

保管方法：冷暗所にて保管し、開封後は全て使いきって下さい。

パラベンフリータイプは、冷蔵庫にて保管して下さい。

F-AR末は、吸湿しやすいため、水気のない所で保管して下さい。

●規格と表示名称

商品名	F-NA, F-AR, F-AR(パラベンフリー)	
項目	規格値	分析方法
性状	淡黄色～淡褐色の粘性のある液体で、わずかに特異なおいがある。	目視、官能評価
確認試験(1)～(2)	+	外原規2006「海藻エキス(5)」の試験法
蒸発残分	1.5～4.0%	常圧120℃加熱法
強熱残分	0.1～2.0%	外原規2006 第3法
ヒ素	<2ppm	外原規2006 第3法
重金属	<20ppm	外原規2006 第2法
一般生菌数	<300/g	標準寒天培地法
大腸菌数	陰性	デソオキシコレート培地法
pH	5.0～7.0	ガラス電極法

★特許出願中